

## 第7回 大田区基本構想審議会第3部会 議事要旨

日時	平成20年2月8日(金) 午後6時~8時
会場	大田区役所 201 会議室
出席者	伊藤委員(部会長)、田中委員(部会長代理)、熊倉委員、中島委員、 奈須委員(五十音順)

### 1. 開会

### 2. 部会長挨拶

### 3. 配布資料の説明

### 4. 審議

基本目標・個別目標の確定

#### 【個別目標1】

- ・ 分かりやすくなっているので事務局案でよい。(一同承諾)
- ・ 個別目標1は「地域力を活かし、区民主体の人にやさしいまちを実現します」とする。

#### 【個別目標2】

(キャッチフレーズの下線部について、原案ならびに下記4案から検討)

良好な環境と経済が 良好な環境と経済性が 良好な環境と経済活動が 良好な環境と産業活動が
---

- ・ 「経済」だけではなく「活動」が含まれる 方がよいと思う。
- ・ 経済活動の方が産業活動より広い範囲のイメージがある。
- ・ 個別目標2は、 の「良好な環境と経済活動が両立する」とする。
- ・ (説明文について)「発展」という言葉を考えたい。必ずしも右肩上がりだけが経済の発展ではないと思う。あえて「発展」という言葉を入れてしまうと環境と反してしまうように思う。「環境への取り組みと経済活動が両立する」としておく方がよいと思う。
- ・ 説明文の斜線部分については、「環境への取り組みと経済活動が両立する」とすることにする。

### 【個別目標 3】

- ・ この目標の到達点は「効率的で活力ある区政を実現し」ということだと思う。そのための手段の一つとして地域との連携・協働がある。文章の3つのパラグラフをまとめたキャッチフレーズとしては、前回の方（「区は、地域を支え、効率的で活力ある区政を実現します」）が代表的な内容だと思う。
- ・ 「地域」には住民も入るので、説明責任、区政の透明性は当然のこと。「地域との連携・協働」がベースなので原案でいいように思う。
- ・ 「効率的で活力ある区政」に1番目と2番目のパラグラフの内容が含まれている。地域との連携・協働を含めていただく方が一般の人には分かりやすい。
- ・ 「地域との連携・協働を進め、効率的で活力ある区政を実現します」とした方がよいのではないか。連携・協働はあくまで手段であると思う。
- ・ 区としての姿勢をずばりと表現するには、「効率的で活力ある区政を実現し」という表現はよい。
- ・ （事務局）キャッチフレーズの真ん中に「連携・協働」を入れると、民間委託などの印象になる。「区政」と並行して「地域」を出した方がよいのではないかと考えて原案にした。
- ・ 区としての責任が明確になっているので原案でよい。
- ・ 区が全面にないと地域のことばかり言っても頭でっかちになる気がする。
- ・ メインは効率的で活力ある区政であるという前提を確認して、キャッチフレーズは原案とする。
- ・ （説明文の“政府”という言葉について）「基礎自治体」という表現は特別区制度調査会でも議論になった。「基礎自治体」と「基礎自治体」は違うと受け止められている。基礎自治体は、一定の規模、能力を備えた自治体のことを指しており原案でよいと思う。
- ・ ここでは分権のことや、将来特別区がどうなるかを表現したかったので、この表現でよい。

### 大田区における地域力の基本的な考え方

#### 【 の表現について】

- ・ 新しい表現「一人ひとりの力を結集することで地域力はさらに強くなります。」の方があらゆる力を活かしていこうという考えが明確になる。
- ・ の最初の表現「この一人ひとり」の「この」は を受けてのことか。
- ・ （事務局）「この」は「区民」のことである。「区民一人ひとり」と修正する。

#### 【 の表現について】

- ・ の「自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など」の中に「学校」を入れる必要はないか。
- ・ あまり細かく言い過ぎるときりが無い。「学校」であれば教育という特定目

的のものが入ってくる印象があるので、「関係機関」というのを入れるという案もある。

- ・ 組織的に大田区に所属している区立の小中学校だけではなく、警察、消防署なども重要な主体。その部分を入れ込むということではよいのではないか。
- ・ 「区民に係わる関係機関」という表現になるが、そのような抽象的なものでよいのか。
- ・ (事務局)PTA などについては「団体」の中に含まれるとイメージしていた。学校は区立であれば区の中に含まれる。あまり列挙しすぎると重すぎる。差し支えなければ「など」に含むと考えさせていただきたい。
- ・ 区だけでは解決できないとき、連携して所管以外のことを解決するしくみとして「関係機関」を入れてもいいとは思いますが。
- ・ 「関係機関」という表現を区民が見てこれなんだということになるのであれば、(この言葉は使わずに)「など」に含めると考えてよいのではないか。
- ・ 学校、病院、警察署、国、都などの機関を含めて「など」と表現する。当部会でこのような議論あったことを議事録に残すことを確認して原案とする。

基本計画で進めるべき施策例について

#### 【個別目標 1】

##### 《企業との連携》

- ・ 「ワークライフバランス」という言葉も重要。企業を地域力にいかに巻き込んでいくか。企業にも地域に目を向けてもらう仕組みを構築していく必要がある。企業の社会貢献活動を評価し、自治体が支援できる仕組みが重要。
- ・ (事務局)「地域ネットワークの充実・強化」、あるいは大田区に大企業は少ないので、中小企業のことには「地域の担い手の発掘と自主的・自立的な活動への支援」に入れていければと考えている。

#### 【個別目標 2】

##### 《温暖化対策の目標設定》

- ・ 温暖化などの環境問題の対策について「10年後の東京」というビジョンを都が打ち出している。たとえば事業者への目標の設定など思い切った施策を展開しようとしている。目標を踏まえた上での施策展開の必要性を加筆してもよいのではと思うが、どこに入れてよいか分からない。
- ・ 「地球にやさしい事業所への支援」に、趣旨を少し盛り込むのはどうか。ここに目標設定を踏まえた計画的な取り組みを入れてもよいのではないか。「省エネルギーやごみの問題に計画的に取り組む」という表現で目標設定を含んだ表現として記述してもいい。「計画的な取り組み」「計画的な推進」などの言葉をどこかに盛り込んでどうか。
- ・ (事務局)重要な課題であるし、基本計画の中で環境政策は大きな位置づけ

になる。修正を行っていく。

#### 【各主体との連携・協働】

- ・ 6 ページ下「環境活動を推進する人材の発掘」が物足りない。また、「区民、自治会・町会、事業者、団体・NPO、区との相互連携の促進」の前にもう一つすることがある。組織や団体が連携するのは難しいことは身をもって実感している。相互連携を促進するためには、今の組織のあり方の見直しなどがほしい。
- ・ (事務局) 区がやること、地域がやることを明確にしていかなければならないので「役割の明確化」を加えたい。

#### 【個別目標 3】

##### 《財政状況の共有》

- ・ 区の財政状況を区民といかに共有できるかという問題が出てくる。そうした仕組みの必要性についても言及すべきである。
- ・ (事務局) 行財政運営のところにそのような文言を入れていきたい。

#### 【今後の方針 (部会長)】

- ・ 文言の修正等、事務局と座長に一任いただく。2月15日の週末までに送付し、20日までに修正内容の確認をお願いする予定でいきたい。

#### 5. 第3専門部会審議終了にあたって

##### 委員挨拶

- ・ 奈須委員：第3専門部会に加わらせていただき勉強になった。方向性をめざしていくことについてお互いに率直に意見を出しあいながらまとめられたと思う。傍聴者にもアンケートへの協力のお礼を申し上げる。
- ・ 中島委員：少子高齢化の時代を迎えてよい時期により勉強をしたという感想がある。こういう会に出て思うのは、自分たちの理想論は羅列できるが、具体的に実行に移すときに難しい状況を生むのではないかということだ。実現可能な方向に向かって一つずつ決めていくことが大切だと思う。
- ・ 田中委員：色々な経験の中で自由闊達な意見ができた。部会長にはうまく取りまとめていただいた。作業部会の皆さんの資料があって議論ができる。傍聴者を含めてお礼申し上げる。勉強になった。
- ・ 熊倉委員：区民代表として参加し、発言させていただいた。とても勉強になった。今回の参加を通じて、自分自身に地域への目が芽生えてきた。地域での活動もこれをきっかけにさせていただくことができた。これからも地域のためにがんばっていきたい。
- ・ 伊藤部会長：部会長は初めてで進行等で意に沿わない部分があったのではな

いかと感じている。意見を十分に汲み取ることができなかつたかも知れないが、無事終了したのは皆様の協力あつてのこと。皆様のご意見、事務局の資料などから大変勉強することができた。研究者として抽象的なことは分かっても地域で活動されている方にお会いするのはあまりない。生のご意見をいただく中で研究、教育に有益だったと感じている。熱心な審議に感謝申し上げます。傍聴して下さった皆様、資料を作っていただいた事務局にお礼申し上げます。部会で得られた結論を全体会にあげて議論することになる。引き続きよろしくお願ひしたい。

#### 事務局挨拶

- ・ 本日で第1から第3までの専門部会の審議がすべて終了した。委員の皆さま、傍聴者に心よりお礼申し上げます。ご迷惑をおかけした点についてはお詫びを申し上げます。いただいたご意見についてはその都度、作業部会の中で深い議論をしてきた。私たちも勉強になった。これを機会にこうした議論ができたことを我々も誇りに思う。これからも努力して参りたい。今日ご審議いただいた内容を再度修正し、部会長の確認をいただいて審議会全体会にご提示していく。今後の大まかな流れであるが、構想素案をパブリックコメントした後、議会でのご審議、そして議決という流れになる。この過程で若干の修正がある点、ご了承願ひたい。本日はありがとうございました。

#### 6. 閉会

以上